中学校

三年生　国語　学習プリント

三年　　組　名前

5　いにしえの心と語らう

『古今和歌集　仮名序』　教科書P134～
『君待つと一万葉・古今・新古今』　教科書P139～
『夏草ー「おくの細道」から』　教科書P146～
『古典を心の中に』　竹内　正彦　教科書P155～

作品の背景を想像して読み、古典の心を今に生かす

音読を楽しもう　古今和歌集　仮名序

◎繰り返し声に出して読み、古文の言葉の響きを味わおう

1　古今和歌集「仮名序」を、歴史的仮名遣いに注意しながら、つまることなく、すらすらと読めるまで、音読しましょう。（読めたら□にチェック）

□　古今和歌集「仮名序」

2　「よろづの言の葉とぞなれにける」とありますが、この一文は、もともと「よろづの言の葉となれりけり」という文です。途中に「ぞ」という言葉が入り、それに伴い文末の「けり」が「ける」に代わりました。このような表現を［A］といいます。これはある事象や行為などに対する、作者や登場人物の感動、疑問の気持ちなどを、より［B］するときに用いられます。

■［A］［B］に入る言葉を書きましょう。

A［　　］…（　　）

B［　　］…（　　）

中学校

君待つと―万葉・古今・新古今

◎効果的な表現や語句の使い方に着目して、和歌を読み味わう。
◎和歌に表れた昔の人の心情や情景を読み取る。

■次の表及び文は、三大歌集をまとめたものです。空欄（　　）に入る言葉を後の語群の中から選び、空欄を埋めましょう。

和歌名	成立年代	選者
		大伴家持らといわれている
	平安時代初期	ほか
		藤原定家　ほか

○万葉集は、現存する日本（　　）の歌集で、約（　　）首の歌を収めている。

○（　　）は（　　）の勅撰和歌集で、約（　　）首の歌を収めている。

○（　　）は、勅撰和歌集で約（　　）首の歌を収めている。

※勅撰（ちょくせん）和歌集とは、天皇や上皇の命により編纂された歌集のこと

【語群】

竹取物語　江戸時代　聖徳太子　平安時代中期　柿本人麻呂
室町時代初期　奈良時代　紀貫之　新古今和歌集　鎌倉時代初期
松尾芭蕉　古今和歌集　平家物語　枕草子　紫式部　西行法師
最新　最古　最初　千九百八十　千　三千二百　四千五百　二十